

祝百歳 100歳 長寿祝い金 贈呈



にっこりと微笑んで記念撮影

松河原の太田貞子さんが、7月5日に満100歳の誕生日を迎えられました。新大山町になって初の100歳祝い金該当者となり、町から祝金と祝詞が贈られました。

太田さんは明治38年生まれ。現在は介護老人保健施設「小谷苑」でもて元氣にお過ごしです。山口町長から祝品を受け取られると満面笑顔で、何度も「ありがとうございます」とお礼の言葉を述べられました。これからお元氣でお過ごし下さい。



家庭教育講演会報告

参加者アンケートから

- 講演を聴いている間にも、子どもがメディア漬けになっているのに危機感を感じました。これからノーテレビデーにチャレンジしたいと思います。
- 私自身テレビを見ながら授乳したりしていたのでドキッとしました。テレビを消して、子どもと話したり、外遊びの時間を増やしたいと思いました。
- 子どもが静かになるから家事をする時間をつくるためにテレビを見せていたし、脳に刺激を与えたいことだと考えていました。今日まるで反対の話しを聴いて、とても心配になりました。
- こんなにメディアが人間に害を与えているとは想像していませんでした。もっとたくさん親や子どもたちに教えてあげられたらと思います。

6月17日(金)に家庭教育講演会(教育委員会大山分室主催)が保健福祉センターだいで行われました。当日は、町内外から約220人が参加して、「現代子育ての落とし穴〜メディア漬けと子どもの危機〜」をテーマに、NHK放送文化研究所専門委員の清川輝基さんのお話を聴きました。

日本の小中学生の50%がテレビやゲームで過ごす時間は、平日で4時間、休日は6〜7時間にもなるそうです。長時間メディアと接触することは、子どもの脳

の発達をさまたげます。外遊びの時間も減り、体力の発達にも支障が出ます。

脳の前頭前野は3歳頃までに急激に発達するのにも関わらず、テレビやゲームなどの刺激はほとんど前頭前野を活性化させないことがわかっています。

メディアと上手につきあうためにはルールを決めることが大切です。テレビは1日2時間まで、ゲームは1日30分までにするなど、家庭で話し合ってみてはいかがでしょう。

